

# SHIN CLUB 54

(株)辰 東京都渋谷区渋谷1-24-4 シブヤ百瀬ビル7F tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450 URL:http://www.esna.co.jp

## 今月の写真 /monthly photo



Estudio 602号室 内観

## 今月のトーク/monthly talk

### キッチンが中心

中野区の大久保通り沿いに、オープンキッチンを中心としたスタジオタイプの集合住宅が完成しました。

#### アイランド型キッチン

室面積29㎡から62㎡までの規模の集合住宅ですが、部屋に入ると、まず存在感のあるアイランドタイプのキッチンが目前に現れます。これまでの単身者向け賃貸集合住宅ではキッチンは申し訳程度の小さなコンロとシンクが付いているところがほとんどでした。

しかし、最近は単身者や共働きの夫婦でも、「食事は、自分でしっかり料理したい」という借り手の要望が増えています。食事は単なる義務ではなく、料理やその時間さえも自分を演出する手段です。キッチンもある程度の大きさのものが要求されています。設計の佐藤尚巳氏は、アイランド型キッチンの良さを次のように話してくれました。

「台所という壁に沿って設置されて、家族に背を向けて作業をするというイメージからなかなか抜け出せませんでした。料理を作るのに、自分が主役になっていない。家族から疎外されて黙々と仕事をするのは楽しくないでしょう。しかし、アイランドタイプだと部屋の中心にあることで、家族と話をしながら作業をすることができる。

今回のスタジオタイプの空間でも、料理をしながら、TVを見たり、音楽を聴いたり、パートナーや来客と一緒に作業することができます。キッチン暮らしの中心に持つことで生活が楽しくなる。それにこの規模のワンルームで、キッチンという別の場所を仕切って作るのもったいない。カウンターを長くしてあるのでそこで食事をすることも可能です。」

キッチンセットは、OSBの突板を用いた特注のもの。可動式のワゴンが

付いているので、家電や台所用具を収めて移動することができます。壁タイプでは作業動線が一方向だけですが、アイランドタイプでは回遊性があり、ワンルームの空間がよりバラエティに富んだものになっています。

さらに、一段高くなったキッチンの背後の壁はガラスモザイクタイルで仕上げ、打ち放しの空間の中でキッチンのエリアが際立つ配慮がされています。壁の中央に設けられたニッチに、お気に入りのアートを飾るもよし、調味料をきれいに並べるもよし、キッチン周りに自分らしさを表現することができます。

ガラスモザイクタイルの壁の裏側にはトイレとバスルームが隠されており、壁両端の引戸で仕切ることができます。トイレとバスの間は透明ガラスで仕切られているため、ベランダから奥のバスルームまで一直線に光が届き、とかく閉鎖的になりがちなバスルームを開放的に仕上げています。普段は引戸を開けて空間を広く使うこともでき、キッチンを中心とした機能的な空間が広がります。

#### 土間

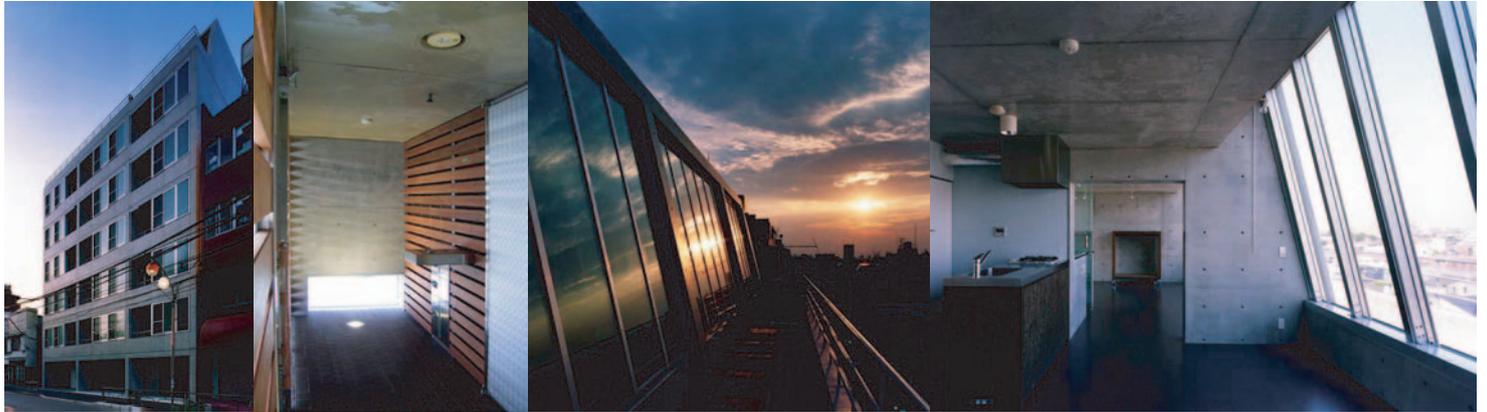
また一部の部屋には入口に大きな土間スペースが設けられ、外部とも内部とも言える領域が一種の緩衝帯として住まい手に自由な空間を提供しています。事務所用途では、打ち合わせスペースに利用したり、住宅としては、半戸外的な食事スペースにしたり、自転車やサーフボードなどのアウトドアグッズや、趣味の家財道具を見せながら保管する格好の場所となります。このような中間領域は、昔の日本の暮らしを思い起こさせます。家を訪れた人は、土間で家人とまず挨拶を交わし、そこで最小限の用事

は済ませ、必要であれば、座敷に上がらせてもらう。土間は、現代の都会の集合住宅でも新たな役割を担うのです。

## 素材

建物の内部に用いられた素材も新しいイメージを生み出しています。ドアのアルミの縞鋼板は廊下側のガラスパーティションとのコーディネートで異彩を放っています。アルミ縞鋼板は通常はハードな作業場のノンスリップ床材として使われますが、傷つきやすい賃貸マンションの扉には

適材ともいえます。照明で様々な表情を見せることも殺風景になりがちな共用廊下に華を与えています。OSBのキッチンのおそろいの移動家具も簡単な仕切り家具として利用できますが、限られた空間の中で視線を遮らない高さに設定されており、細かい配慮が感じられます。南側の隣接するマンションは4階建てのため、上層階では共用廊下を介して南側に広々とした景色が広がります。最上階のペントハウスは南北に開けた開放的な空間で、北側の窓は道路斜線の影響で傾斜し、ペントハウスを特別な空間に見せています。北側デッキも広く取っており、遠く中野駅北側の高層ビルまで見渡せる眺望を確保しています。



①全景

②エントランス

③ペントハウスベランダ

④ペントハウス内観

今月の写真、①、③、④撮影：堀内広治/新写真工房

②撮影：佐藤尚巳氏

## 作品紹介/monthly architecture 05

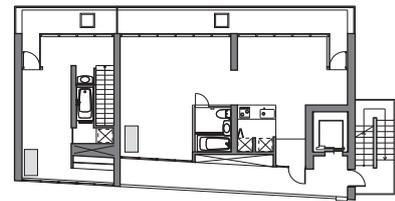
# 中野の集合住宅 Estudio

敷地は、交通量の多い中野区大久保通りに面した、巾18m、奥行き10mの東西に細長い形をしている。北側接道で、南側には中層のマンションが隣接しており、日照が十分には期待できないため、ファミリータイプではなく、単身者かDINKS向けで、デザインにもこだわりがある層を対象とした計画とした。

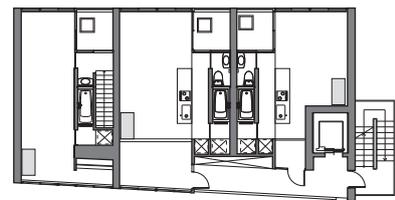
RC壁で東西に分節された30㎡内外の空間を1つのユニットとして、3ユニットで階を構成している。最上階は2ユニットを連結させたペントハウスとし、また2ユニットを上下に連続させたメゾネットも3室設けて、6層で計14戸の集合住宅としている。1階にはエントランス、駐車場、駐輪場、ごみ置場などをゆったりと配置している。

南側に個室を置き、北側に共用廊下を持つてくるのが日本のマンションの常識であるが、北側接道の場合見苦しい共用廊下が街路に面することになり景観を害してしまう。欧米では「街路」は都市の中の限られたパブリックスペースとして大切にされ、街路に対して背を向けて建築を構成することはありえない。しかし、日本では風土からくる日照第一の考えと、個人の権利意識が強く、公共空間を大切にする意識は希薄である。日頃から「北側廊下が日本の都市景観を害している」と感じていたので、この計画では共用廊下は環境条件の悪い南側に置き、窓先空地などという窮余の措置を勞せずとも採光と避難安全性が得られる開放的な街路側に個室を置くことで街路のファサードを構成し、同時に敷地の有効活用を図った。ファサードは840mm幅をモジュールとして明快な構成とし、建築が自己主張するのではなく、都市空間の良質なインフラとなるように心がけた。

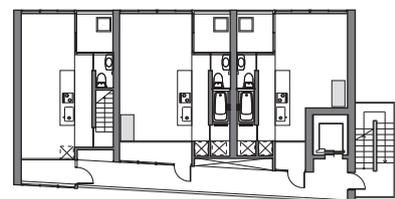
(佐藤尚巳氏談)



7階平面図



3.5階平面図



2.4.6階平面図



解体のときに多少のトラブルがありましたが、工期の遅れもなく、無事完成いたしました。ドアの素材やフローリング材などが特徴的で、設計者のこだわりが随所に見られる建物となっています。また、外壁のコンクリート打ち放しの部分や、ガラス面に今話題の光触媒を使いました。光触媒には雨が降ると外壁をきれいにしてくれる効果があります。今後の経過に期待したいと思います。  
(讚井隆浩 主任)



私にとっては初めての建築現場で、何から何まで初体験の出来事ばかりでした。しかし、大変だと感じることは全くなく、すべて興味深く、楽しく仕事に取り組むことができました。それも讚井所長のスムーズな段取り（職人さんだけでなく私にも！）があったからです。この建物と別れるのは辛いですが、住む人に愛されて使ってもらえれば幸いです。(佃直樹 係員)

## DATA

所在地：東京都中野区

用途：共同住宅

構造：RC造、薄肉ラーメン構造

規模：地上7階

設計：佐藤尚巳建築研究所

構造設計：ローファット

ストラクチャー

設備設計：知久設備計画研究所



今月は、中野の集合住宅(Estudio)の設計者、佐藤尚巳さんです。

#### —いつ頃から建築家になろうと思っていましたか？

佐藤：昔からプラモデルとか工作とか、ものを作るのが好きでした。何かものづくりに関わってみたいと思っていたことと、クラシックが好きだったので、自分の手でコンサートホールを作りたいという気持ちから建築学科を目指しました。

いざ建築を勉強し始めると様々な面が見えてきて奥深い領域であることも理解できましたが、やはり「作りたい」気持ちが強く、入所後すぐ現場に出させてもらえると先輩から聞いていた菊竹事務所に入れて頂きました。菊竹事務所で多くの得がたい経験をさせて頂きました。7年勤めて辞め、ハーバードの大学院に留学しました。もちろん建築も勉強しましたが、アメリカという多民族国家の中で生活することで、言語、文化、宗教、生活習慣など異なる価値観が存在し、どれも同等に正当性を持っていることを学んだことは大きかったですね。「日本が一番！」なんて思っている、世界から見れば結構変な国なのですよ。公共という意識、街並みや公共空間を大切にす文化もそこにいなきゃわからなかったと思いますね。また「歴史というものがいかに大切なものか」も痛感しました。良いものを継承してゆくことが文化だと思うのですが、日本は歴史の古い国でありながら、古いものをどんどん壊していきますね。今の日本の建築教育は、コンセプト至上主義で、新しい提案、奇妙な発想ほど大切にされるようなところがあります。これは建築家のエゴにもつながり、都市はエゴの産物であふれかえることになります。

#### —アメリカじゃその辺はどうなんですか。

佐藤：コンセプショナルなことも教えますが、歴史教育や都市デザイン、ランドスケープについても同等に扱っています。現実には社会に入って仕事をするとわかりますが、変なことするとすぐ訴えられますからね。カッコいいものを作っても使えないものを作っちゃうとすぐに訴訟。設計者も現実の都市に対しては理性的に取り組んでいます。

もう一点、アメリカはヨーロッパ文化に対して劣等感がありますから、常そちらを向いていて、ヨーロッパの文化や歴史をコピーする意識が非常に強いといえます。メディアもそういうものを賞賛する傾向があって、建築は文化欄で頻繁に扱われています。一般市民の建築に対する理解度が良い意味で(大衆的ですが)、高いレベルを持っている。日本では、漏水とか事故で記事になるくらい。せいぜい社会欄でしょう。最近朝日新聞の文化欄で少しは書いてくれるようだけど、それにしても全体からみれば、一般市民の文化や歴史的観点からの建築に対する理解度は低いですね。

#### —建築が難しいので、評価をできる人が少ないのではないのでしょうか。

佐藤：評価と言うより、まず一般市民の理解だと思えますね。最近「景観」という話が出てきて多少そういうものが意識に上ってきた、とは思いますが…。

#### —建築家側にも努力することがありませんか。

佐藤：一般的に、建築家は与えられた敷地の中でしか仕事をしていません。「街の中でこの建物がどう見えるか、隣の建物とどう関わるのか」ということを考えない設計者は多いと思います。隣が将来どうなるかわからな

#### 佐藤尚巳(さとうなおみ)

profile

1955年	東京都生まれ
1979年	東京大学工学部建築学科卒業
1988年	ハーバード大学デザイン学部大学院修了
1979～1986年	菊竹清訓建築設計事務所
1987～1987年	Cambridge 7 Associates (Cambridge, MA)
1988～1990年	I.M. Pei and Partners (New York)
1990～1990年	Rafael Vinoly Architects PC (New York)
1990～1996年	ラファエルヴィニオリ建築士事務所、日本事務所、所長
1996年	株式会社佐藤尚巳建築研究所

#### 主要な作品

目白の家増築(1997)  
 南通英青服装有限公司工場(1997)  
 日本外国特派員協会改装計画1期、2期(1998, 2000)  
 南通英瑞会館(2000)  
 神保町一丁目南部地区第一種市街地開発事業(デザイン協力)(2003)

いに配慮しようがない、という意見もあるでしょうが、個人の資産が社会資産に比べるとはるかに大事にされていると感じますね。ヨーロッパでは景観に対する市民意識は非常に高く、街中で建物を新築する場合、「いや、そんな高いものを建ててはダメ。壁面がどうの、色がどうの」とすぐに厳しい意見が出てきます。京都のように歴史的な街並みや建物を保護する条例はありますが、一般的な都市では景観を大切にしようなんて状況ではない。東京もこれだけ外国人が来ているのに、観光資源として都市景観を積極的に創ろうとする気運がない。行政が勇気をもって指導力を発揮すれば、街はもっと魅力的になるはずなのに、と思います。

#### —ヨーロッパでは建築家が市長になるケースもよく見られますが、日本の建築家ももっと政治に踏み込む必要がありませんか。

佐藤：前港区長の原田敬美さんは、菊竹事務所の先輩で一級建築士です。いろいろ話を聞いていますが、政治的活動もなかなか難しいようです。簡単にはいかないようです。

<佐藤さんは、現在吉祥寺で市政センター跡地に建設中の、「武蔵野市吉祥寺シアター」の設計を担当されています。市が指名した6人の設計者の選考会は一般公開され、佐藤さんに決定しました。外観は建物の高さをおさえ、テラス状の都市回廊や高木並木を設けるなど街並みと都市景観に配慮したデザインとなっています。>

佐藤：ハーバードを出て、いくつか設計事務所に勤務し、帰国を考えていた時ちょうどヴィニオリが『東京国際フォーラム』のコンペを取りました。すぐに彼の事務所に入り、日本事務所代表として6年半やりましたが、人生の一番いいときを捧げた感じですね。あれだけお金使って、完成度の高いものを作る仕事をしてしまうと、達成感というか、しばらく人生観が変わったようなところがあって不思議な感じでした。今は建築の流れが変わりつつあるような気がしますが、今後も「街並み」をよくしていくために地道にやっていきたいと考えています。

—どうもありがとうございました。



南通英瑞会館

## 「良いコンクリートは型枠を痛めない」

有限会社 浅石工務店  
代表取締役

浅石隆雄氏

コンクリートを流し込む型枠を作る大工は「型枠大工」と呼ばれ、工程の主導権を握る大事な職方です。鉄筋工とのコンビネーションも施工時の重要なポイントです。今月は、この型枠工事業の浅石工務店を細山田工事部長と訪れました。

細山田：浅石工務店さんとは平成13年頃からお付き合いですが、会社の業績も上り坂のようですね。

浅石：私は個人的に昭和54年くらいからこの仕事をしていますが、会社を作ったのは平成2年。現在45人の大工を抱えています。辰さんと仕事を始めたのは5,6人しかいなかった頃です。型枠業者は、自分で仕事を取ってくるわけではありませんから、毎回いい仕事をするしかありません。例えば、監督さんが基本的に考えている工程と、我々の工程とが合わない場合もありますが、こちらが専門工事の立場で考えた工程を尊重させてもらえれば、うまく行く事が多い。提案力で次に繋げることを心がけています。

最初は大変でした。どんなに搬入路が小さい現場でも行きましたよ。でも似たような建物ばかりやっていると業者と競争していたら、結局負けてしまう。競争のないところ、つまり難易度が高く、他の業者が逃げるといった難しい仕事をやっているうち、打ち放しの工事も得意とするようになりました。辰さんとの仕事も必然的に多くなってきましたが、ほかのゼネコンさんと比べると違いますね。感心します。

## 一どんな具合にですか？

浅石：ほとんどの現場できれいにコンクリートを打ちますね。技術力でしょうが説明がつかない部分もある。先日でも新宿の現場でやらせていただいたのですが、うちでは同時に同じ設計事務所の別の現場を、別のゼネコンの施工でやっていたのです。やっぱり辰さんの現場に来てみるといい。同じ設計事務所、同じ材料、型枠業者である我々も同じ、担当者は違ったけれど、知識というか、代々伝えていく何かが違うと感じましたね。同じもの作って型枠を開いてみたら、ジャンカだらけだとがっかりします。型枠の表面にノロが出て、次に型枠を使うとまた汚く仕上がる。型枠も痛んで悪循環になります。だから我々も密度の高い良いコンクリートを打ってもらおうとありがたい。

## 一型枠は1回ごとに洗わないのですか？

浅石：化粧打ち放しの場合は毎回洗いますが、普通は、剥離材のようなものを塗って置いて、コンクリートの剥がれをよくして使い回します。設計事務所によっては、ビカビカにしたいからと「1回使った型枠は転用してはダメ」という指定をするところもあるのですが、それでは使用済みベニヤがどんどん溜まる一業者としてはメリットがなくなります。そこで「秘密兵器」。何回使用してもダメにならないいいベニヤがあるんです。少し高いのですが、3年位前から使っています。20回使っても全然平気ですね。

「ステルナ <http://www.ishinomaki.co.jp/concrete/contents.html> (石巻合板工業㈱)」という商品ですが、「捨てないで、大事に使ってほしい」というネーミング、ぴったりです。環境問題もありますから限られた資源は大事にしたい。



浅石社長。若い大工さんと工場で。



自慢の秘密兵器「ステルナ」の前で

設計事務所でも人気が出ているようです。

細山田：そういえば設計者の方がパネル割りにこだわると、施工が大変なときもありますね。

浅石：「見せる場所」、例えば吹き抜けの階段部分で誰もがよく目にする壁などは、Pコンのレイアウトが目立ちますから、設計者は気にされますね。でもあまり指示が細かいと、実際に住む人がそこまで求めるか、と疑問が起きるときもあります。手間や費用、工事の精度も考えなくては・・・。

細山田：意匠と施工精度のせめぎあいですね。

浅石：でも図面はきちんと確認しますよ。あとで「ちゃんと見てないの？」と設計者に言われるのは恥ずかしいですから。化粧の線か、旗揚げの線か、色分けすると作者の意図が見えてくる。施工の効率という事では、うちは小さい現場にも対応できるように、工事車両も小さいけれど積載量の多いものを用意しています。普通の4トン車はクレーンを積むと基本的に積載量が3トン以下になる。うちのは、クレーンを積んでも3.8トンです。おまけに荷台が小さめで威圧感はない。

細山田：今は近隣対策の上からも、工事車両には気を使います。

浅石：積載オーバーでつかまっても大変。法律違反は怖いですからね。産廃問題でもそうです。法律を守らないで古くなった型枠などをきちんと廃棄物処理の手続きを取らず、自社の場内で野焼きしている業者もいる。どういう神経しているのかと思いますよ。以前聞いた話ですが、あるゼネコンの図面を運んでいた軽トラックが盗まれて、犯人は不要な図面類を不法投棄の場所に捨てていったんです。それで、ゴミの取締りをしてた警察がそれらの図面を見て、そのゼネコンに不法投棄されていた地域一帯のゴミの処分を命じたのです。トラックの盗難の証明はできたが、図面の盗難の証明はできなかったため、何百万か払う羽目になったと一時大騒ぎでした。うちの会社もゼネコンの迷惑になるようなことは絶対に避けなければならないと思いました。こういうことも大事だと思いますね。

## TOPICS/INFORMATION

## C-ONE新築工事 地鎮祭 8月26日 渋谷区

日本で活躍中のフランス人デザイナーの方の事務所です。インテリア、家具、家電から携帯電話、香水のパッケージデザインまで、フィールドを限定することなくデザインの世界を繰り広げるオーナーが、旧知の設計者とともに作り上げる空間に期待が集まります。

構造：S造  
地上3階 地下1階  
用途：専用住宅・事務所  
設計：内海智行  
／ミリグラム・スタジオ



## IKE7914 プロジェクト 地鎮祭 9月7日 大田区

ご両親がお住まいだった場所での建替工事です。オーナー夫妻が趣味の競技ダンスを楽しむダンスルームが1階に設けられています。

構造：RC造  
地上3階  
用途：専用住宅  
設計：桑原聡  
／桑原聡建築研究所



## (株)辰 創立記念日 10月2日

弊社は、平成11年10月創立以来、満5年が経ちました。これもひとえに皆様の暖かいご支援の賜物と社員一同心より御礼申し上げます。10月2日(土)は全社員参加記念行事のため、全休(土曜日稼働現場を含む)とさせていただきますので、ご了承の程、よろしくお願い申し上げます。

## 編集後記

・皆様、夏休みはいかがお過ごしになりましたか。去年は、雨続きで湿度対策が話題になりました。今年は猛暑、ここ渋谷では気温40度を記録した日もありましたが、「打ち水大作戦」の職を持った一団を見かけて、昔ながらの涼を取る方法をなつかしく思い出しました。